

愛媛・南予の柑橘農業システム

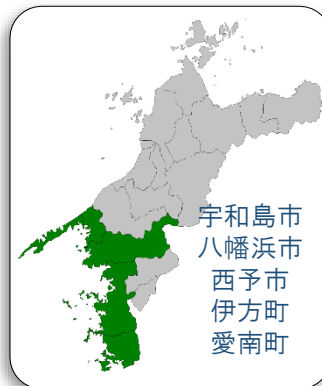
～天と地と海が織りなす景観～



日本農業遺産

平成31年2月認定

愛媛県南予地域



愛媛県南予地域

急傾斜かつ複雑に入り組んだ海岸線にかんきつの段々畑が広がり、独自性の高い壮大な景観を形成しています。大消費地から離れた条件不利地でも、「共選」組織等による戦略的な産地づくりにより、全国トップクラスの生産量と品目数を誇っています。

未来に継承したい美しい段々畑

リアス海岸沿いに連なる急峻な山々に築かれた段々畑は、自然美に人の営みが加わり、壮大で独特な景観を形成しています。

石積みとかんきつ園地が育む生物多様性

かんきつ園地の周辺には約70種もの鳥類が生息しています。石積は外来生物の侵入を防ぎ、今では稀少となった日本固有の植物などの保全機能があります。



シジュウカラ



ウラギンスジ
ヒョウモン

① 石積等による
土流防止



② 防風林による
塩害の防止



③ 3つの太陽による
豊富な日射量



3つの太陽と資源循環

段々畑は「空からの太陽」「石垣からの反射光」「海面からの反射光」の3つの太陽光を受ける恵まれた環境です。また、地元の漁業でとれた魚を肥料として使い、畑の栄養を循環させる持続可能な農業が行われています。

山からの
栄養塩

魚肥を園地で
利用

豊富な
水産資源

加工

日本農業遺産認定による効果

農林水産業

(1)産地の実情に応じた新規就農者の確保・育成等

- ・新規就農者の定着支援
- ・みかんアルバイトなど農繁期の労働力確保

(2)地産地消の促進と柑橘の消費拡大

- ・PR 動画の作成・配信や県内及び首都圏でのプロモーションやマルシェの開催など認知度向上に向けた取組実施
- ・みかんジュースの品評会を開催
- ・柑橘を使用した6次化商品の推進

(3)消費者との交流

- ・地域のお祭りやイベントを通じたPR
- ・食育活動による地元消費促進
- ・都市部でイベント実施



マルシェの様子



愛媛南予の柑橘

- 新技術や優良品種の開発・普及： - (H29)→25件(H30～R7)
- 労働負荷軽減対策実施（ドローン等）： - (H29)→85件(R7)
- 新規就農者数(累計)：217人(H30～R7)
- 担い手への支援件数(累計)：202件(H30～R5)
- 6次産業化ブランド産品開発件数(累計)：29件(H30～R7)
- 農産物輸出回数(累計)：59回(H30～R5)

生物多様性の保全

(1)地域住民主体の保全活動

- ・南予地域で生まれた「共選」、「果樹同志会」等による生産技術の指導、石積技術の伝承



サシバ

ホオジロ

シジュウカラ

ヒメウラジロ

イヌノフグリ

ウラボシ

(2)里山の保全・再生

- ・GLOBALG.A.P を取得支援
- ・エコファーマー認定支援

- 石積技術の調査・勉強会：1件(H29)→70件(R7)
- 景観保全勉強会： - (H29)→10件(R7)
- 緑認定(エコファーマー)認定者：4人(H29)→71人(R7)
- 水産エコ認証新規取得件数(累計)：7件(R5～R7)

次世代への継承

(1)次世代を担う若年者への支援

- ・若手農家への研修プログラムや、小学校での栽培体験
- ・地元児童・生徒を対象とした農業遺産関連施設の見学ツアー
- ・農業遺産や南予の柑橘農業システムを漫画形式の副読本を作成し、小学校の授業で活用
- ・高校生を主体とした農業遺産に関するフォーラムを開催



フォーラムの様子

- 食育・消費拡大活動件数(累計)：761件(H30～R7)
- 都市・消費者との交流：54件(H29)→82件(R5)
- R7年度フォーラム参加者数：合計590名